

## 会員の活動報告

(2017年11月～2018年10月)

### 伊川 徹

- 私の特別な授業とは？ *Mon cours spécial que j'ai réussi.* (*RENCONTRES* 32, *Rencontres Pédagogiques du Kansai*, pp. 40～44, 2018年7月)
- 私の特別な授業とは？ *Mon cours spécial que j'ai réussi.* (口頭発表、第32回関西フランス語教育研究会、上田安子服飾専門学校、2018年3月)
- フランス・オペラの政治性 (藤田友尚講師による6回連続講座、伊川 徹主宰CAF+-SPECTACLES 1、神戸国際会館8階セミナー・ハウス、2018年5月～7月)
- モリエールの原典を読む — 17世紀文典の解読法と時代背景 (口頭発表、中村啓佑氏主宰「フランス語の小広場」(於大阪駅前第4ビル9階Joe's Office、2018年5月))
- モリエールの原典を読む — *LE BOURGEOIS GENTIL-HOMME*, Acte II, Scène IV の翻訳 (口頭発表、中村啓佑氏主宰「フランス語の小広場」、大阪駅前第4ビル9階Joe's Office、2018年5月)
- 民衆のスペクタクル — 大道芸から遊園地まで (中村啓佑講師による6回連続講座、伊川 徹主宰CAF+-SPECTACLES 2、神戸国際会館8階セミナー・ハウス、2018年9月～11月)

### 柏木 治

- 一九世紀前半における「銀行家」の社会的地位と文学空間 (一) (『関西大学文学論集』、関西大学文学会、第67巻3号、2017年12月)
- フランス19世紀初期における「文明観」とエジプト (『国際的な文化遺産の保存・活用に関する総合的研究』、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業最終成果報告書、関西大学国際文化財・文化研究センター、2018年3月)
- 革命から第一帝政時代の金融界とその周辺 — 九世紀前半における「銀行家」の社会的地位と文学空間 (二) (『関西大学文学論集』、関西大学文学会、第68巻2号、2018年9月)
- 「力強い性衝動 新鮮」(第34回織田作之助青春賞・U-18賞選評)(記事、『毎日新聞』、2018年1月10日)
- 第34回織田作之助青春賞選評 (記事、『三田文学』、三田文学会、第132号冬季号、2018年2月)

- 「力強い性衝動 新鮮」、第34回織田作之助青春賞・U-18賞選評（記事、『文學回廊』、大阪文学振興会・織田作之助賞実行委員会、第3号、2018年3月）
- 文学と青春（口頭発表、慶應義塾大学文学部・三田文学会共催公開シンポジウム、2018年1月22日）

#### 友谷知己

- Aveuglement et clairvoyance : la transfiguration amoureuse dans *Riquet à la houppe* (『仏語仏文学』第43号、2018年3月)

#### リコ-ヨコヤマ・アドリアナ

- Retour sur la notion d'« homme ordinaire » à partir du mythe de la méchanceté inhérente à l'homme (『仏語仏文学』第44号、2018年3月)
- Altruisme : La genèse d'un doute (et son destin) (口頭発表、関西大学フランス語フランス文学会、2017年12月)

#### 山川清太郎

- 文法を活性化させるには — フランス語文法ためしてガッテン！ — 平嶋里珂、山川清太郎、(*RENCONTRES* 32、*Rencontres Pédagogiques du Kansai*, pp.95-99、2018年7月)
- フランス語文法、試してガッテン！ 平嶋里珂、山川清太郎（口頭発表、関西フランス語教育研究会、2018年3月27日）
- フランスの「使い方」を学ぶ 高橋梓、松井真之介、山川清太郎（ワークショップ、弘前大学、2018年5月1日）
- 「職場のパワーハラスメントをどう改善するか？」高橋梓、松井真之介、山川清太郎（ワークショップ、Enjoy Learning Forum東北 29、河合塾仙台校、2018年8月11日）

修士論文題目

2018年3月

久保勘太良

カミュ初期作品に於ける不条理と異化

## 後 記

本年も、『仏語仏文学』をお届けする時期になりました。本号で第45号になりますが、本号も充実した論集にすることができました。なお、本号には、2017年度に提出された卒業論文のうち特に評価の高かった河野 諒さんの論文を掲載しました。学部学生の勉学の励みとなることを願っています。原稿をおよせいただきました会員の皆様、および本号の刊行に協力いただきました皆様には、厚く御礼を申し上げます。

本学会2018年度研究発表会・総会が2018年12月15日（土）午後3時から、関西大学千里山キャンパス第1学舎D114教室において開催されました。奥 純教授によるアラン・ロブ＝グリエに関する発表と川神傅弘本学名誉教授による滋味深い発表が行われ、充実した研究発表会となりました。当日の発表題目を以下に紹介しておきます。

1. ロブ＝グリエの『コラント最後の日々』について

本学教授 奥 純 氏

2. 「全体主義」に対するベルジャーエフとカミュ

本学名誉教授 川神傅弘 氏

また、研究発表会の後、2018年度総会が開催され、皆様のご協力を得て予定されていた全ての議事が滞りなく承認されましたが、議案のうち『仏語仏文学』の関西大学学術リポジトリでの公開登録についても承認されましたので、ここに記しておきます。『仏語仏文学』編集委員会では、近年、寄稿頂いた論文は全て関西大学学術リポジトリにて電子データとして公開する旨のご了解を原稿募集の段階で頂いておりますが、今回、関西大学学術リポジトリ運営委員会からの依頼を受け、総会にて慎重審議の結果、電子データ公開につき『仏語仏文学』の全バックナンバーへの遡及適用を承認したものです。本件について何かご質問がおありの場合は編集委員会までお問い合わせ下さい。

末尾ながら、会員各位のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(編集委員会)

## 関西大学フランス語フランス文学会々則

1. 本会は関西大学フランス語フランス文学会 (Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) と称し、事務所を関西大学文学部フランス語フランス文学専修合同研究室に置く。
2. 本会はフランス語フランス文学に関する研究および発表と、これに関連する事業を行なうことを目的とする。
3. 本会は次の事業を行なう。
  1. 機関誌「仏語 仏文学」(Bulletin de la Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/The Bulletin of Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) およびその他の出版物の刊行。
  2. 研究会・講演会の開催。
  3. その他本会の目的にかなう事業。
4. 本会はその目的に賛同する次の会員をもって構成する。
  1. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修専任教員。
  2. 関西大学大学院文学研究科フランス文学専攻・専修学生、およびその修了者 (旧学科名称時の大学院修了者を含む)。
  3. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修学生、およびその卒業生 (旧学科名称時の学部卒業生を含む)。
  4. 本会の趣旨に賛同し、入会を認められた者。
5. 本会の目的を達成するため会費を納入する。
6. 本会に次の役員を置く。その任期は1年とし、重任を妨げない。
  1. 会長 1名
  2. 委員 若干名
    - a. 企画委員
    - b. 編集委員
    - c. 庶務・会計委員会長と委員によって委員会を構成し本会の実務の運用に当り会長はこれを統括する。
7. 会員は機関誌「仏語 仏文学」等の配布をうける。また会員は機関誌への投稿、および本会の行なう事業に参加することができる。なお、投稿論文は、会則6に定める委員会の議を経て掲載される。
8. 本会の重要事項は総会の議決による。

(2007年4月1日から施行)

## 仏語 仏文学 第45号

2019年3月14日 発行

編集・発行 関西大学フランス語フランス文学会  
吹田市山手町 関西大学  
フランス学研究室  
印刷所 株式会社 遊文舎  
大阪市淀川区木川東4丁目17番31号  
電話 (06) 6304-9325(代)

(非売品)